

# 貧酸素水塊速報 (2023年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 東京都環境局  
 第三管区海上保安本部  
 (国)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)

(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和5年9月20日観測結果

貧酸素水塊は内湾の広い範囲に分布し、中央部ではDO0.5 ml/L以下の無酸素に近い海域が広がっていました。湾奥では9月16日から続く南寄りの風の影響で、表層水が流れ込み、底層DOが上昇しています(図1)。

縦断ラインでの規模は、27%となり、直近10年平均を上回っています(図2,3)。  
 表層水温26~29℃、底層水温21℃~28℃でした。

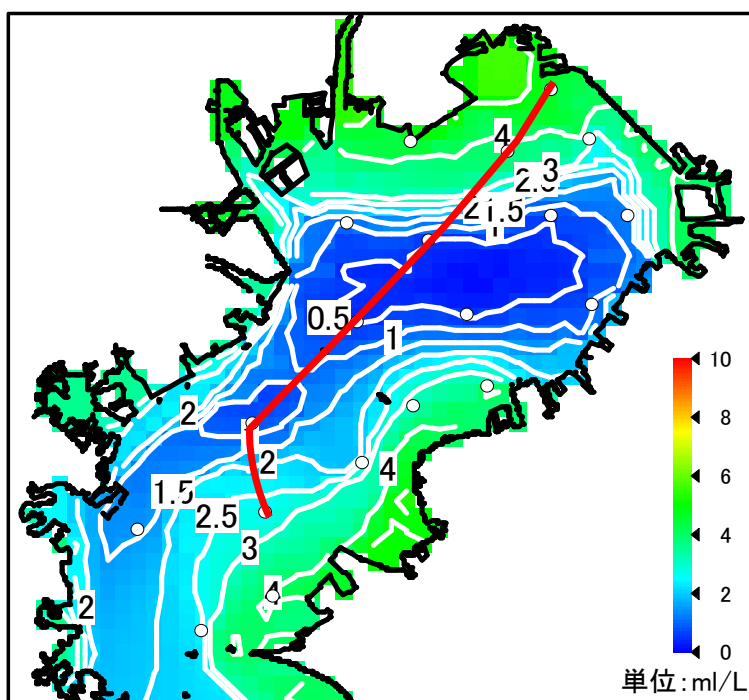


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

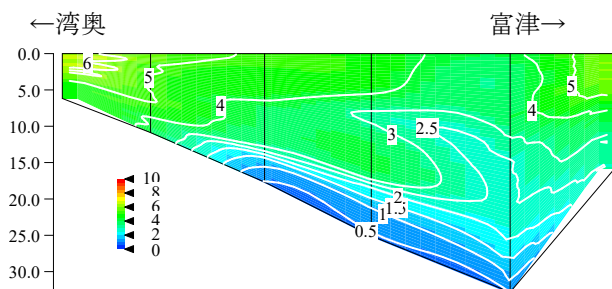


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

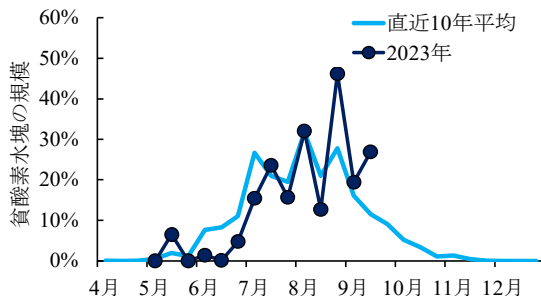


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

### 酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安

| 酸素飽和度  | 溶存酸素量   | 備考    |
|--------|---------|-------|
| 50%    | 2.5mL/L | 貧酸素水塊 |
| 30~40% | 2.0mL/L | 魚類に影響 |
|        | 1.5mL/L | 貝類危険  |
|        | 1.0mL/L |       |